

11305その他の精密機械器具製造業における死傷災害100事例（-2017年）

| No | 年 | 月 | 発生 時 | 死傷災害事例 | 年 齢 | 事 故 の 型 | 起因物 (小) | 労働 者規 模 |
|----|------|----|-----------|--|--------|------------------|------------|---------------|
| 1 | 2017 | 12 | 15~16 | 社内工場で、マグネットのクレーンで製品（3m40cm）を吊っている際、その製品が周辺の物にぶつかり、マグネットが外れた。3m位の高さから吊っていた製品が落下し、右足の指のつけ根に当たり、5本とも指を骨折した。 | 18 | 4 | 211 | 50~ 99 |
| 2 | 2017 | 12 | 8~9 | 当社工場内にて、始業にあたり作業所に移動する時、コンプレッサーのコードにつまづき転倒し、その際、左膝をついてしまい骨折した。 | 53 | 2 | 379 | 1~9 |
| 3 | 2017 | 12 | 10~11 | 工場内に於いて、塗装設備機械改造作業中、梯子をかけ高所で作業し下りる際、足を踏み外し、約2m下の地面に落下し、頭部を負傷したものである。 | 46 | 1 | 371 | 10~ 29 |
| 4 | 2017 | 12 | 9~10 | 金型の合わせを行う為、ダイスポットにセット中、クレーン操作ボタンの下降ボタンを誤って操作してしまい、左手親指第一関節を挟んでしまった。（5tクレーン使用） | 55 | 7 | 211 | 10~ 29 |
| 5 | 2017 | 12 | 14~15 | 関連会社から出向しており、出向先の工場内に於いて紙管のかたづけ作業中、紙管（直径10cm、長さ50cm位）を両手で抱えて移動中、足が床で滑って転び、手をついた際に右手を受傷した（スニーカー使用）。 | 58 | 2 | 416 | 10~ 29 |
| 6 | 2017 | 11 | 12~ 13 | 工場内のレール置場にて、レールの入っている木箱の蓋の釘を抜き処理している時、靴越しに釘を踏み足底に刺さった。大したことは無いと思い様子を見ていたが、腫れて痛みがひどくなったため受診した。 | 43 | 9 | 521 | 50~ 99 |

| | | | | | | | | |
|----|------|----|-----------|--|----|----|-----|-----------------|
| 7 | 2017 | 11 | 19～ 20 | 製造工程内において、カテーテル成形品を顕微鏡下でカットしていたところ、右側に置かれていた書物専用机に肘を載せたところ、机が体と反対側にスライドし、バランスを崩して転倒した。その際に机に前頭部、床に肘をぶつけた。 | 26 | 2 | 391 | 500 ～ 999 |
| 8 | 2017 | 11 | 22～ 23 | メディカル工場B棟1F成形室で、メンテ室から金型置き場まで、金型を金型交換台車に乗せて運搬中、ハンドルをきった際に、金型が台車から滑り落ちそうになった。台車を止めて落ちるのを防ごうとしたが、支えきれずに金型が右足甲の上に落下した。（高さ約380mm、重さ約800kg）メンテ室から成形室の扉下部分に段差があり、乗り越えるために勢いをつけて走行していた。 | 25 | 4 | 229 | 500 ～ 999 |
| 9 | 2017 | 11 | 14～ 15 | 当社工場内において材料分別作業時、重なっている鉄板をバールを用いて中腰の体勢で分離中、しゃがんで力を入れたが、見込み重量より重かった為、鉄板が上がらず、腰に負担が掛かってしまい、腰を痛めた。当日はそのまま帰宅したが、翌日から立ち上がることに、歩行が困難になり、病院へは後日に行けた。 | 60 | 19 | 521 | 10～ 29 |
| 10 | 2017 | 11 | 11～ 12 | 工場内板金タンク課A係にて、屋根の煙突に損傷部を発見し、それを確認するため自ら用意した脚立（高さ1.8m）の天板に乗り、両手で煙突を掴んで離れた時、バランスを崩し床へ落下し、地面に衝突した際、右手首及び右肋骨を骨折した。 | 57 | 19 | 921 | 50～ 99 |
| 11 | 2017 | 10 | 23～ 24 | 本人から監督者に右手首に痛みがあるとの報告があった。本人の話によると、金型交換作業で右手首を捻ったとのことだったが、見た者はいない。尚、当日に該当作業はなく、金型交換作業は別日に実施している。よって被災の事実は確認できていない。 | 38 | 19 | 169 | 500 ～ 999 |
| | | | | 本社材料試験センター内に於いてアルミ板材試験片のひずみ制御での疲労試験の際、トラブル発生により試験が停止した事を | | | | |

| | | | | | | | | |
|----|------|----|-----------|--|----|----|-----|-------------------|
| 12 | 2017 | 10 | 10～ 11 | 顧客へ電話報告しながら試験片の状態を確認しようと治具の間から左手で取り外そうとした時、ひずみの状態が変わり治具が作動し左拇指の根元を挟まれて負傷した災害。 | 38 | 7 | 391 | 10～ 29 |
| 13 | 2017 | 10 | 10～ 11 | 当社内作業場にて、金型の組み立て・修正の作業中、金型部材をホイストを使ってワイヤ掛けし反転しようとしたところ、ホイスト操作ボタンの位置が高く、ワイヤ掛けの箇所が低かったため、腰を大きく曲げた体勢で作業したところ左肋骨を骨折した。 | 73 | 19 | 521 | 1～9 |
| 14 | 2017 | 10 | 16～ 17 | 派遣先内積層室にて、カーボンシートを切断する自動切断機を操作中、カーボンシートが詰まる不具合が発生した。安全カバーの隙間から作業中の切断機のカッター部分に左手を入れ、詰まりを直そうとした際、下りてくる刃に左手の中指と薬指が挟まれた。 | 49 | 7 | 169 | 500 ～ 999 |
| 15 | 2017 | 10 | 8～9 | 1200トントライプレス北側の踏台（ボルスターモーターのカバー）の上に乗し、金型（上型）をプレスに固定する為のナットを締める作業で手に持ったスパナに体重をかけた時に、踏台から左足を踏み外して床に転落した。その際、左腕に体重がかかり、左手首を骨折した。発生後も労働していた。 | 62 | 1 | 371 | 50～ 99 |
| 16 | 2017 | 9 | 16～ 17 | 開発中の大型プリンタの寸法を測定するため、定盤（測定装置を設置した台）に、靴を脱いで上がり段取りを開始した。定盤上で作業中、滑ってバランスを崩し、左側斜め後方に左肩から転落した。 | 45 | 1 | 391 | 1000 ～ 9999 |
| 17 | 2017 | 9 | 10～ 11 | 梱包作業中、梱包した製品をパレットに置く際、中腰で手を離れたところ、腰を痛めたものである。 | 60 | 19 | 611 | 50～ 99 |
| | | | 20～ | 横中ぐり盤の定盤上で、製品（両端が円板状のフランジになった軸物）の端面フランジに取り付けた加工治具（φ1230×60t、重量約440kg）を、位置合わせのため回転方 | | | | 50～ |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|-----------|---|----|----|-----|-----------------|
| 18 | 2017 | 8 | 21 | 向に手で若干動かしたところ、治具（凸部）製品（凹部）のはまりこみ部が抜けて、治具が定盤上に落下した。落下した後、治具が作業者に倒れ掛かり、左膝下を強打し、作業者はそのまま定盤と機械との間に倒れ込んだ。 | 34 | 4 | 152 | 99 |
| 19 | 2017 | 8 | 17~ 18 | 通水試験が終了したので、通水用ポンプを停止させるためにポンプ室に行き、踏み台を乗り越えて送水用バルブを締め、戻ろうとして再度踏み台に乗ったときに、踏み台が倒れて転倒した。転倒したとき、踏み台に左脛をぶつけ、踏み台角部の鋭利な部分で裂傷を負った。 | 47 | 1 | 416 | 500 ~ 999 |
| 20 | 2017 | 8 | 13~ 14 | 当社工場内において、フライス盤で材料（鉄、φ16、100L）を加工していたとき、材料をバイスでくわえながら、左手でフライスの刃物の加減をみていたところ、油断した際に親指を滑らせ、付け根が刃に触れた。慌てて避けようとしたため、中指と薬指の側面にも刃を当ててしまい受傷した。 | 83 | 8 | 152 | 10~ 29 |
| 21 | 2017 | 7 | 13~14 | ボール盤（穴あけ機械）のテーブル上に機械部品（鉄板）をのせ、複数の穴をあける作業をしていた。次の穴をあけるため鉄板をずらそうとした時、手が滑り、鉄板が左足親指付け根辺りに落下した。安全靴を履いてはいたが負傷した。 | 62 | 4 | 521 | 1~9 |
| 22 | 2017 | 7 | 14~15 | 20kgのアルミ材料数本を積み下ろし作業中、材料置場でラックに積んであるアルミ材料を台車に乗せ換える作業をしているとき、台車の片側に材料を積載したために、台車がバランスを失い横転し支えようとした。左腕が引っ張られ、左肩を脱臼した。 | 43 | 19 | 362 | 50~ 99 |
| 23 | 2017 | 6 | 10~ 11 | 本社工場において、SPブローチ（金属棒）を汎用旋盤にて荒加工の作業を行っていた。その際に加工面の確認をしようと回転しているSPブローチに触れたところ、左手小指（軍手着用）を巻き込まれ負傷した。 | 40 | 7 | 151 | 100 ~ 299 |
| | | | | 請負先で、金属の表面を削る機械に鋼材（67×100×338、重 | | | | |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|-----------|---|----|---|-----|-------------------|
| 24 | 2017 | 6 | 2~3 | さ約18kg) を機械テーブルにセットする際、左手を滑らせてしまい、機械テーブルと鋼材の間に左手小指を挟み、左手小指第一関節を骨折した。 | 21 | 7 | 521 | 10~ 29 |
| 25 | 2017 | 6 | 10~ 11 | 平常通り、工場内でグラインダー (30cm×13cm) で作業中、誤ってグラインダーが左足の内ももに接触して負傷したものである。 | 73 | 7 | 153 | 10~ 29 |
| 26 | 2017 | 6 | 11~ 12 | 弊社工場内の棚に置いていた塗装部品箱の積み方が悪く、崩れそうになり、咄嗟に手を出したところ、棚に右手を強打した。 | 32 | 3 | 611 | 10~ 29 |
| 27 | 2017 | 6 | 23~ 24 | 4Fフォト外観工程で、カセット (約10kg) を台車からレーンに移す際、周りに人がいなかったため1人でレーンに移そうとした時、右側のバランスが崩れてカセットが落下しそうになった為、右胸上部で受けて負傷した。通常2人で作業するところを、1人で作業した。 | 44 | 6 | 611 | 300 ~ 499 |
| 28 | 2017 | 6 | 11~ 12 | 第一工場のトイレ脇の段差で、トイレに行こうと段差を上ろうとしていた時に、それまで降っていた雨の影響で、誤って足を滑らせてしまい、転倒した。その際、左手首と左膝を強く打ってしまった。 | 38 | 2 | 418 | 50~ 99 |
| 29 | 2017 | 5 | 15~ 16 | 押出室から出る際に、椅子に足が引っ掛かり転倒し、左足膝下を強打した。 | 47 | 2 | 391 | 500 ~ 999 |
| 30 | 2017 | 5 | 10~ 11 | 工場でクレーン上部レールを運搬台車に載せていた。(上部レール、L型アングル4本1束、1辺100mm×100mm、長さ9.2m、重量1.2t) 上部レールが運搬台車の中央からずれた為、中央に寄せようと天井クレーン (2.8t) を使用し吊り上げ、地切りしたところ荷のバランスが悪かった為、スリングの位置を変更しようとしてクレーンを加工した時、左手でスリングを触っていたため、左手小指が上部レールと運搬台車に挟まれた。 | 57 | 7 | 211 | 1000 ~ 9999 |
| | | | | 工場内の更衣室のある3階より作業場のある1階へ向かう階段 | | | | |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|-----------|--|----|----|-----|-------------------|
| 31 | 2017 | 5 | 21~ 22 | において、足を踏み外して高さ約30cm（階段1段目）より足を着いた時に、挫いた状態で接地し、左足首を捻挫した。階段中央を歩いていたため、とっさに手摺りを掴むことが出来なかった。 | 34 | 19 | 413 | 10~ 29 |
| 32 | 2017 | 5 | 8~9 | 横型専用フライス盤（中心溝切削機）の工具交換作業で、テーブル送りのボタンを押しながらテーブルを右限界へ移動し主軸ナットを緩め工具（カッター）を外すべきところ、左限界の位置で主軸ナットを緩め工具を外そうとしていた。手順の間違いに気づき、ナットを緩めていた為、工具とテーブルが干渉しない様に左手で主軸カラーを押さえて、テーブル送りのボタンを右手で押してテーブルを右へ移動したところ、主軸カラーとテーブルの隙間に左手中指を挟んだ。 | 41 | 7 | 152 | 500 ~ 999 |
| 33 | 2017 | 4 | 17~ 18 | ボール盤で25t×210×300の厚板に25丸穴加工中、切粉が腕抜きに引っ掛かり、腕を巻かれた。 | 65 | 7 | 152 | 30~ 49 |
| 34 | 2017 | 4 | 9~ 10 | 本社研磨工場内でトイレに行った帰り、通路を歩行中に足がもつれてよろけ、左足が横に傾いた状態ですべり、足首を捻ってしまった。 | 31 | 19 | 921 | 30~ 49 |
| 35 | 2017 | 4 | 10~ 11 | 粉碎機による粉碎作業中、粉碎物が規定量になり、袋を交換しようとした際（15~18kg）、右太もも辺りに痛みを感じ、歩行困難となった。 | 54 | 19 | 921 | 1000 ~ 9999 |
| 36 | 2017 | 3 | 11~12 | 工場内に設置しているスポット溶接作業時に、フットペダルを踏み込んだまま溶接ピンの位置を修正しようと、右手人差し指を入れてしまい指を挟んだ。 | 42 | 7 | 169 | 10~ 29 |
| 37 | 2017 | 3 | 17~18 | 熱処理生産課ラインで、2人作業で段取り作業をしていた。被災者（機械本体の段取り）の作業が終わっていると思った別の作業者（搬送の段取り）が、製品の逆打ちチェックをするためにプレスを上昇させた。そのとき被災者はまだ機械に手を入 | 34 | 7 | 154 | 500 ~ 999 |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|-------|---|----|----|-----|---------|
| | | | | れたままであったため、プレスとスライドプレートに左手中指を挟まれ骨折した。 | | | | |
| 38 | 2017 | 3 | 14~15 | 工場内で脚立から降りようとしたら足がすべり脚立から落ちた。 | 28 | 1 | 371 | 1~9 |
| 39 | 2017 | 2 | 14~15 | 職場の自分の机で仕事をしていた時、机の上にあったスプレー缶が下向きに落ち、駅が出て、ストーブの火から引火し、ズボンに火がついた。ズボンには作業時についた脂が染みついていた為、燃えだした。自分で火を消そうとしたが消えず、横で作業していた者が気づき、消火した。燃えて溶けたズボンが足に引っ付き両足を火傷した。 | 46 | 11 | 379 | 1~9 |
| 40 | 2017 | 2 | 10~11 | 自社の組立工場内において、クレーンで加工材料を吊るため、加工材料を寝かせようとしたところ思った方向とは異なった方向に傾いたため、慌てて右手で支えようとしたところ、右肩を痛めた。 | 43 | 19 | 921 | 50~99 |
| 41 | 2017 | 2 | 12~13 | 上下2段になった搬送ローダーで、上段に四角いプレート治具を並べ加工前メーターケース2個をセットする作業をしていた。昼休憩後に上段の加工前メーターケースが少なかったの で、下段で空いたプレート治具を上段へセットする為に取り出そうと持ち上げたところプレートと上段ローダーについているブラケットの間に手が挟まり、つかえた状態のまま手を引き抜いた為、負傷した。 | 35 | 3 | 379 | 500~999 |
| 42 | 2017 | 2 | 14~15 | 当工場内において、マシニングセンターで金型の取付盤の加工作業をしていたところ、裏表の反転をさせる為にワイヤーで吊り上げたが、本来台の上でしなければならないワイヤーの掛け替えを吊り上げた状態で行ってしまい、ワイヤーが外れ作業中の取付盤とマシニングセンターの機械の間に左手中指が挟まれて負傷したものである。 | 53 | 7 | 159 | 10~29 |
| | | | | クリーンルーム工場、金型成形機の金型を作業台の上で取り | | | | |

| | | | | | | | | |
|----|------|----|-----------|---|----|---|-----|-----------------|
| 51 | 2016 | 12 | 9～ 10 | 伸線機を使って伸線作業中、ロールにかけてある線が脱線し、戻そうとした時に右手中指が巻き込まれ裂傷した。 | 33 | 7 | 169 | 1～9 |
| 52 | 2016 | 12 | 8～9 | 工場建屋内にて、溶接機供給装置のメンテナンス終了後、高さ0.8mの足場から降りようとして、右足から後ろ向きに着地しようとしたが、右足をひねって転倒した。 | 42 | 2 | 371 | 50～ 99 |
| 53 | 2016 | 12 | 16～ 17 | 積層室にて、ファンケースの真空包装作業をしている時、製品を載せてある架台から架台ストッパーを踏み台にして降りようとした際、架台ストッパーを踏み外し落下。後方に転倒して、腰と頭を床に打ちつけ負傷した。 | 37 | 1 | 391 | 500 ～ 999 |
| 54 | 2016 | 12 | 10～ 11 | 休憩時間中、工場内AB棟間通路において休憩終了2分前の予鈴が鳴ったので、飲んでいたペットボトルのゴミをゴミ箱に捨てに行こうとしたところ、他部署の何人かが通路で打ち合わせをしていた為、通常のルートではなく製品置き場を通った。その際、ラックとゴミ箱の間に敷いてあったプラスチック製のスノコ状の上で足を滑らせ転倒し、右腕を骨折した。 | 54 | 2 | 417 | 500 ～ 999 |
| 55 | 2016 | 11 | 11～ 12 | 集材機の部品のエンドレスドラムにフランジを溶接する前準備のフランジのバリを取るため、ベビーグラインダーで磨いていた時、鉄粉が目に入った。 | 67 | 4 | 153 | 10～ 29 |
| 56 | 2016 | 11 | 13～ 14 | 工場前でトラックの荷台から荷台に80kg程の鉄を移動させる為、2人で抱えて運ぶ時、手から滑り落ちバランスを崩し右足太ももに落ちてきた。 | 36 | 4 | 521 | 10～ 29 |
| 57 | 2016 | 11 | 16～ 17 | 部内打ち合わせのため自席を立ち同フロアにあるミーティングテーブルへ移動しようとした際に、足元に置いてあった鞆につまずき転倒した。 | 51 | 1 | 417 | 100 ～ 299 |
| 58 | 2016 | 11 | 16～ 17 | VBT製造設備の定期メンテナンス作業として、シュリンク包装搬出口コンベアの駆動用チェーンにグリスを塗布していた際、誤って右手の手袋がチェーンと歯車の間に巻き込まれ、右手人差し指の先端を負傷した。 | 26 | 7 | 121 | 100 ～ 299 |

| | | | | | | | | |
|----|------|----|-----------|--|----|----|-----|-----------------|
| 59 | 2016 | 10 | 8~9 | 前夜に熱が37.5° あったが、当日朝は熱が下がっていた為、いつも通り出勤した。勤務直後から体調が悪かったが40分ほど通常作業をしていた。しかし体調も良くなり早退の申し出をし、吐き気がしたのでトイレに向かう途中、建屋入口で気を失った。意識回復後2回目の貧血で鉄ポールに額を打ち倒れた。意識がないままトイレに向かって進むが、3回目の貧血により、三度気を失い倒れ、右手の平・左手左膝を地面に強打ち、負傷した。 | 86 | 90 | 911 | 30~ 49 |
| 60 | 2016 | 10 | 16~ 17 | 出張先の工場内にて、デカンタ型遠心分離機をオーバーホールするため、機械を分解中、鋳造部品の円筒を中腰姿勢で持ち上げた時に腰に痛みが走った。 | 62 | 19 | 161 | 50~ 99 |
| 61 | 2016 | 10 | 15~ 16 | 製造している機械室内より外へ作業者が退室しようとした時に、外側へ昇降用に置いてある脚立に右足が乗った時に脚立が滑り体が外側へ落下してしまった。 | 40 | 1 | 371 | 10~ 29 |
| 62 | 2016 | 9 | 16~ 17 | 工場内のボール盤を使用し穴あけ作業中、ボール盤を停止せずキリコを取り除こうとして、キリに巻き込まれ、左手人差指第1関節を負傷した。 | 44 | 7 | 152 | 10~ 29 |
| 63 | 2016 | 9 | 8~9 | 製品組立職場にて、電線圧着作業のため圧着器のダイヤル調整をしていたところ、電源が入っていたことに気付かず、誤ってペダルを踏み込み両手ひとさし指を可動部に挟み込んだ。 | 24 | 7 | 154 | 500 ~ 999 |
| 64 | 2016 | 9 | 16~ 17 | 切削加工工程において部品切削加工中、治具に部品を装着する際に左手人差指が切削油で滑り、回転していたフライス刃に触れ、負傷した。 | 36 | 8 | 151 | 10~ 29 |
| 65 | 2016 | 9 | 14~ 15 | 作業場内で部品10個を入れた折りコンテナを配膳部品用台車に置くため持ち上げたところ、腰に違和感があり、痛みを感じ立っている事がつらい状態になった。 | 43 | 19 | 611 | 500 ~ 999 |
| 66 | 2016 | 8 | 12~ | 機械テーブル上のワークを手で向きを返そうとしたときに手が | 50 | 7 | 169 | 10~ |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|-----------|--|----|----|-----|-------------------|
| | | | 13 | 滑って、ワークとテーブルの間に指を挟んで、負傷した。 | | | | 29 |
| 67 | 2016 | 8 | 9～ 10 | 工場に設置されている切粉を機械内下部に附属する切粉受から取出す作業を行っていた。その際、2重履きの軍手をはめた状態で手で切粉受から取出していたため、不注意により右手小指と薬指を切創した。 | 26 | 8 | 521 | 30～ 49 |
| 68 | 2016 | 8 | 9～ 10 | 重量25kg程度のアルミリールを持ち上げた際、腰から背中を痛めた。 | 51 | 19 | 921 | 50～ 99 |
| 69 | 2016 | 8 | 13～ 14 | 2階屋上で、風向風速計の支線交換作業中、2本目の支線を交換する為に切断したところ、支柱のバランスが崩れ、支柱が共に倒れて骨折した。 | 42 | 5 | 419 | 30～ 49 |
| 70 | 2016 | 7 | 16～ 17 | フォークリフトで支えたパレットに入り、地上2mの所で配管工事を行っていたが、バランスをくずし転落し、腰椎を圧迫骨折をした。 | 22 | 1 | 222 | 10～ 29 |
| 71 | 2016 | 7 | 14～ 15 | 工場内で、部品を布ハブで研磨中、部品がハブ材の摩擦により持っていかれ、飛ばされてしまった。飛ばされた部品がハブ機カバー内を通過して顔面に接触し、額及び頬を切傷した。 | 35 | 4 | 153 | 50～ 99 |
| 72 | 2016 | 7 | 11～ 12 | 体育大会にてサッカーの試合中にボールを追って相手選手と競り合い接触して転倒した際に、右肩から倒れ受傷した。 | 18 | 2 | 921 | 1000 ～ 9999 |
| 73 | 2016 | 7 | 14～ 15 | 工場内にて施盤を使いペーパーヤスリで製品を磨いている時に、手が滑り誤ってチャックの爪に手の甲をあててしまい骨折をした。 | 45 | 3 | 151 | 1～9 |
| 74 | 2016 | 6 | 9～ 10 | 塗装ヤード内において手摺をつっかい棒で立たせた状態にし、被災者はつっかい棒のある側にしゃがみ込んで手摺の下部を刷毛塗りで塗装作業していた。その時、誤ってバランスを崩して手摺を引っ張った為、手摺が手前に倒れて来て手摺を支えるような恰好で地面に座り込み背中に重みがかかり、胸椎を負傷す | 67 | 5 | 521 | 10～ 29 |

| | | | | | | | | |
|----|------|----|-----------|--|----|----|-----|-----------------|
| 91 | 2016 | 1 | 17～ 18 | 帰宅時、駐車場に向かって歩行中、めまいが起こり、転倒した。 | 60 | 2 | 921 | 500 ～ 999 |
| 92 | 2015 | 12 | 17～ 18 | 作業所にて鉄の材料をクレーンで吊り上げ加工機にのせようとした。この時、材料の上のせていた木片（敷き板）が落ちたのでそれを拾うため、クレーンから目を離してかがみこんで手を伸ばした時、クレーンの材料がすべり落ち、左手人差し指、中指を負傷した。 | 68 | 4 | 211 | 100 ～ 299 |
| 93 | 2015 | 12 | 16～ 17 | 構内通路で、雨よけでテントが設置してあり、急に強い北風が吹き、テント数張りが崩れ始めた。数名でテントの北（風上）に避難し様子を見たり支柱を押さえていたが、風が弱まり、テントの幌を外す作業を始めた際、突風が吹き、倒壊するテントにまきこまれ、支柱があたり負傷した。 | 62 | 4 | 419 | 500 ～ 999 |
| 94 | 2015 | 12 | 18～ 19 | 事業所内にて品物の製作中、薬品が電気コード付近につき発火、炎上、右手右足他を火傷した。 | 21 | 11 | 514 | 1～9 |
| 95 | 2015 | 12 | 14～ 15 | アルミ製の板を作業台の上に載せ、サンダーを使ってバリ取り加工をしていたところ、アルミ製の板が作業台から落下し、先端が左足の安全靴の鉄板が入っていないところに当たり、負傷した。 | 23 | 4 | 521 | 1～9 |
| 96 | 2015 | 11 | 13～ 14 | 工場ピット（工場排水浄化槽）の定期清掃の時に、網カゴを持ち上げた際、足を滑らせて、足からピットへ転落し、胸を強打した。 | 61 | 1 | 414 | 30～ 49 |
| 97 | 2015 | 11 | 15～ 16 | 自動曲げ装置で、曲げ加工中に製品が金型に自動挿入されたが、曲加工後の製品が金型から搬出されず次の製品が搬入され、2枚重なった状態で停止した。2枚重ねの製品を取り出そうと光線式安全装置の検出枠外から、金型上の製品を指で持ち上げたところ、スライドが下降し、右手人差し指を負傷した。 | 30 | 7 | 154 | 50～ 99 |
| | | | | 作業中ヒートシールラインで停止したとの連絡をうけ確認に | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----|------|----|-----------|--|----|----|-----|-----------------|
| 98 | 2015 | 10 | 16～ 17 | 行ったところ、〔通過異常〕のランプがつき、サイクル停止状態だった。シートヒーターにシートが付着していたので、右手でカバーを開け左手をシートヒーターに近づけた時に、異常処理担当者が「そのままにしてください」と声をかけ振り向いたときにシートヒーターが下降して左手を挟まれ負傷した。 | 44 | 7 | 169 | 500 ～ 999 |
| 99 | 2015 | 10 | 10～ 11 | 鍛造プレスクランクシャフトの勾配キー打ち込みの前段階であるキーの側面部の摺り合わせを実施していた。その際、キー本体端面に加工されたタップ孔に寸切ボルトを挿入し、手で持ち上げながらキー溝に挿入していた。その後、クランクシャフトとの当たり確認の為、引っ張って見たがきつかった為、プラスチックハンマーでキー下側を叩きながら、徐々に動きだしたので、プラスチックハンマーを預けてからキーを上下に動かしながら抜いていた所、一気に抜けてしまい、慌てて左手を添えたが、キー本体の重量を受けとめられず、そのままの状態では床面とキーに左手第二指を挟まれて被災した。 | 20 | 7 | 159 | 500 ～ 999 |
| 100 | 2015 | 10 | 9～ 10 | プリンターの組立工場で、約4kgのプリンター完成品を箱詰め作業中、台車の段ボール箱にプリンターを中腰で入れようとした時に腰を痛めてしまった。 | 57 | 19 | 611 | 30～ 49 |

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。